施主様用

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

快適に使用していただくために

取扱説明書 自然浴生活

EVファンクション
EVポール

もくじ

1.安全のために必ず守ってください ・・・・・・・・・1
2.各部名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
3.使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
　3-1. 充電方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
　3-2. スリム縦型ポスト ・・・・・・・・・・・・・・・・9
　3-3. ネームシールの貼り方 ・・・・・・・・・・・・・9
　3-4. テレビドアホン親機・子機 ・・・・・・・・・・・9
　3-5. 照明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
　3-6. ご注意とお願い ・・・・・・・・・・・・・・・・10
4.お手入れと日常点検について・・・・・・・・・・・・11
　4-1. お手入れについて・・・・・・・・・・・・・・・・11
　4-2. 保守 ・ 日常点検について・・・・・・・・・・・12
5.修理を依頼する前に・・・・・・・・・・・・・・・・・14
6.修理と保証・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
7.別売り品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
8.仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
9.ダイヤル錠解錠シールの貼付け ・・・・・・・・・17
10.緊急連絡先の記入・・・・・・・・・・・・・・・・・17

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

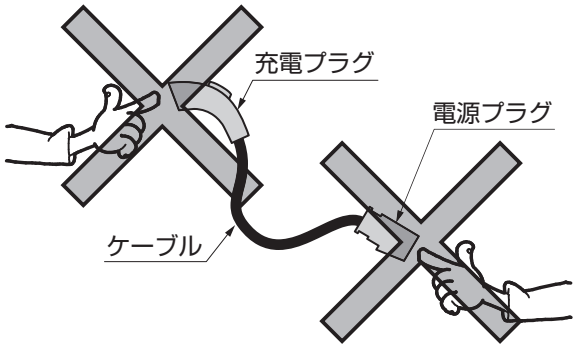
安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれがある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

UA198_201102A

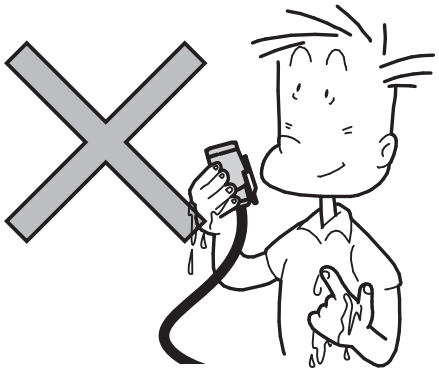
1　安全のために必ず守ってください

⚠警 告



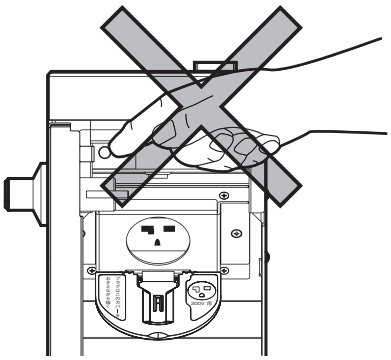
●充電プラグ･電源プラグ先端には手を触れないでください。感電による事故の原因になります。

⚠警 告



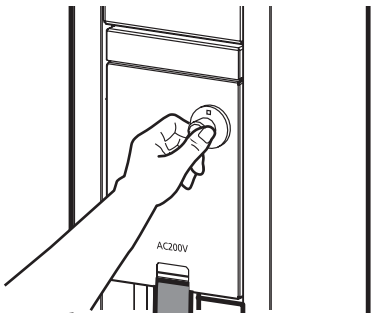
●濡れた手でコンセントや電源プラグを操作しないでください。感電による事故の原因になります。

⚠警 告



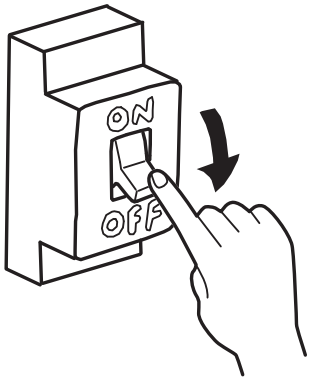
●点検やメンテナンス時以外はインターロックスイッチを触らないでください。感電による事故の原因になります。

⚠警 告



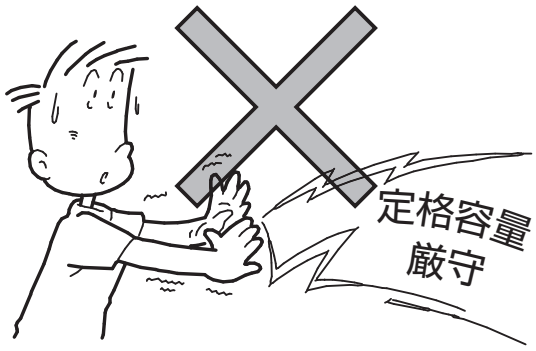
●電源プラグの抜き差し時以外は、確実に扉を締めて施錠してください。水滴の浸入や指先の挿入による感電の原因になります。

⚠警 告



●お手入れや点検の際は必ず漏電ブレーカを「OFF」にしてください。感電による事故の原因になります。

⚠警 告

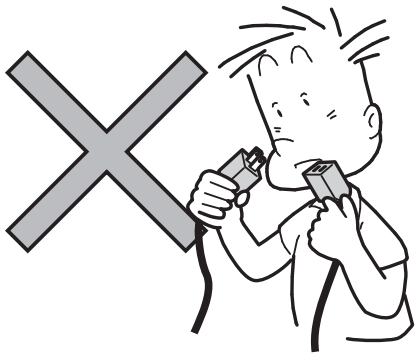


●コンセントの定格容量（AC200V／20A、AC100V／15A）を超えて使用しないでください。充電不良や発熱･発火の原因になります。

⚠警 告

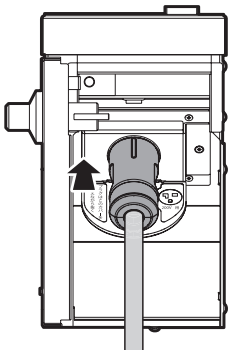
●製品の分解･改造はおこなわないでください。
発熱･発火など思わぬ事故の原因になります。

⚠警 告



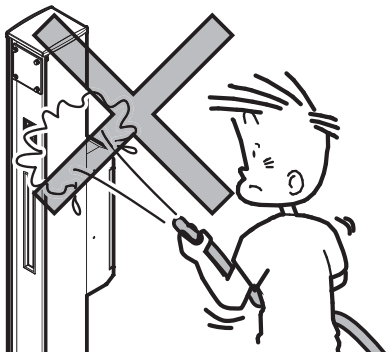
●テーブルタップなどを使用して充電ケーブルの延長や分岐をしないでください。充電不良や発熱･発火の原因になります。

⚠警 告



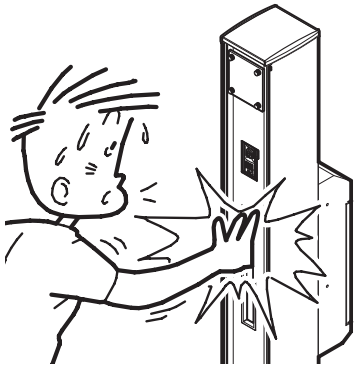
●電源プラグは確実に奥まで差し込んでください。
差し込みが不完全な場合、火災の原因になります。

⚠注 意



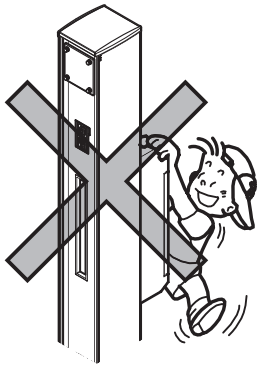
●製品に直接水をかけて清掃をしないでください。
製品の故障や漏電の原因になります。

⚠注 意



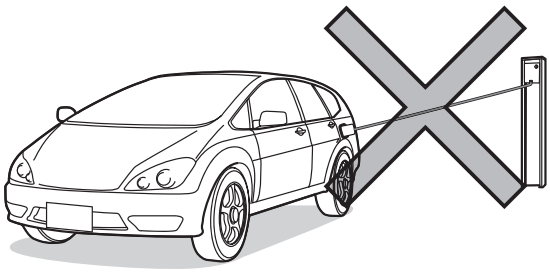
●充電BOXやポストの投函口で手や指をはさまないように注意してください。ケガをするおそれがあります。

⚠注 意



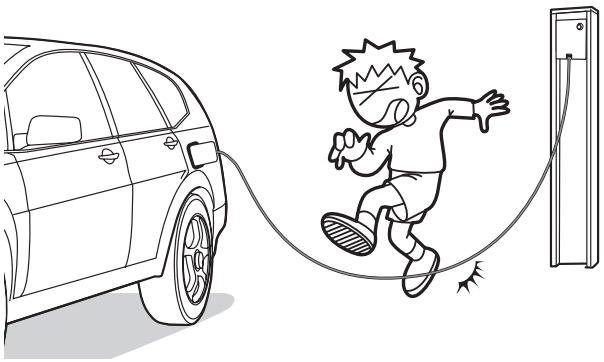
●EVファンクションやEVポールへぶらさがったり物を吊り下げたりしないでください。製品の故障やケガをするおそれがあります。

⚠注 意



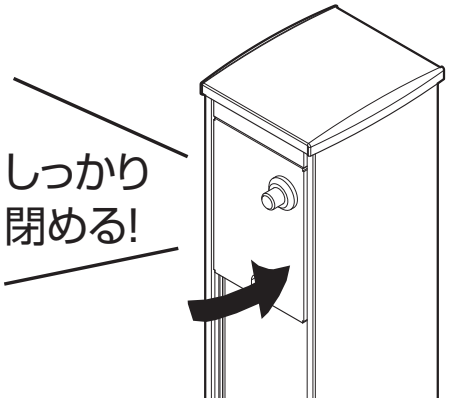
●充電ケーブルが引っ張られた状態で使用しないでください。充電ケーブルやプラグ、コンセントなどが破損するおそれがあります。

⚠注 意



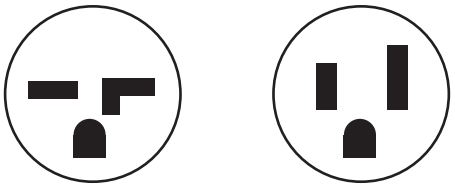
●充電中にケーブルで足をひっかけないように注意してください。特に小さなお子様は思わぬ事故につながるおそれがあります。

補 足



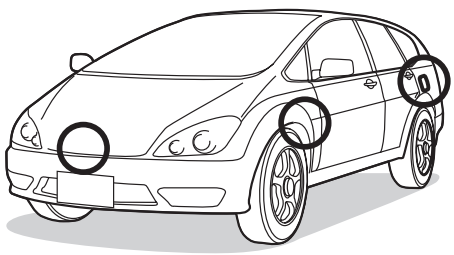
●充電BOXの扉はしっかりと閉めてください。扉が確実に閉まらないと充電が開始されません。

補 足



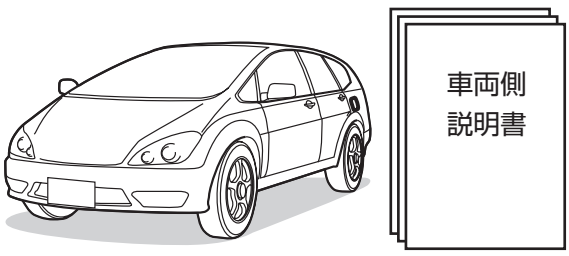
●電気自動車(EV･PHV)の充電には、上記の専用電源プラグをご使用ください。

補 足



●電気自動車(EV･PHV)の充電口は車の種類により異なります。充電をおこなう前に使用する車両をご確認ください。

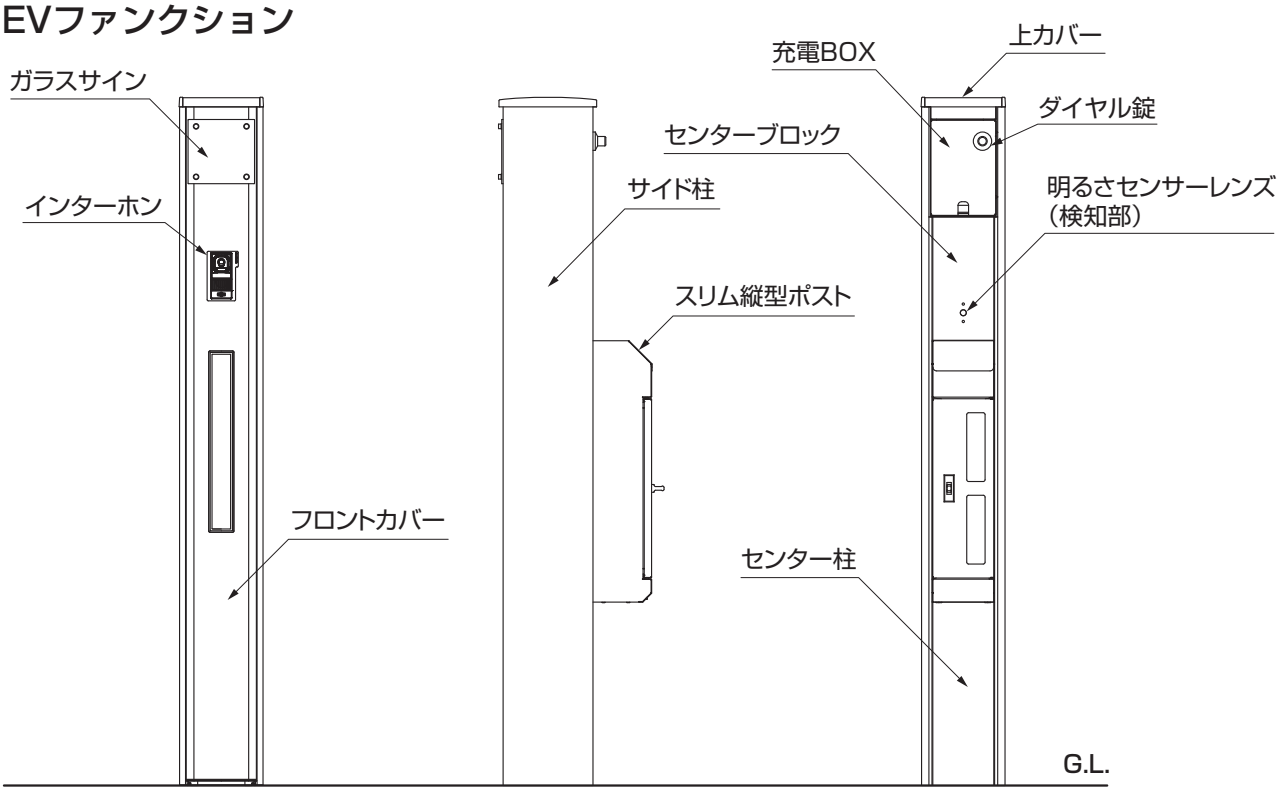
補 足



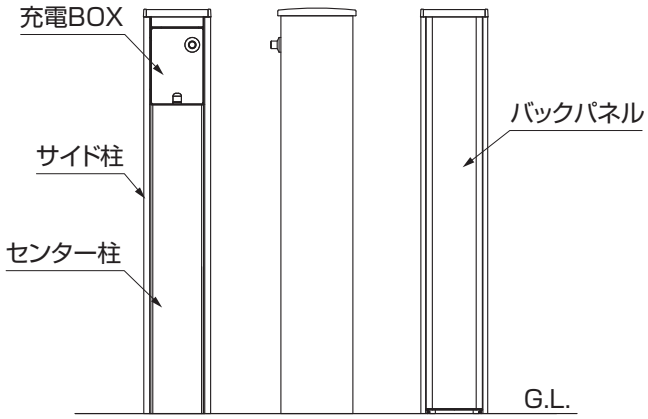
●充電作業は車両側の取扱説明書にしたがいおこなってください。電気自動車についてのご質問は各自動車メーカーへお問合せください。

2　各部名称

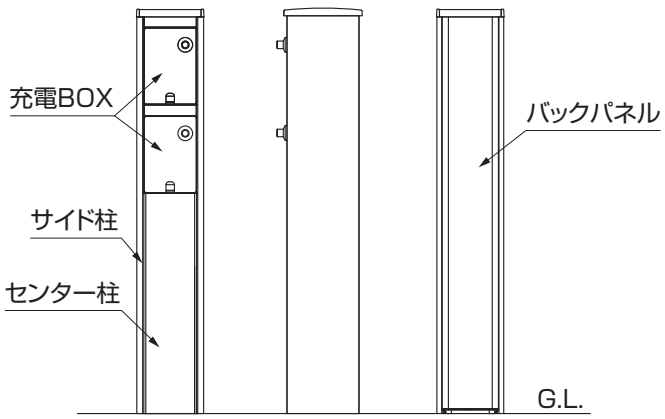
（1）EVファンクション



（2）EVポール　1BOXタイプ

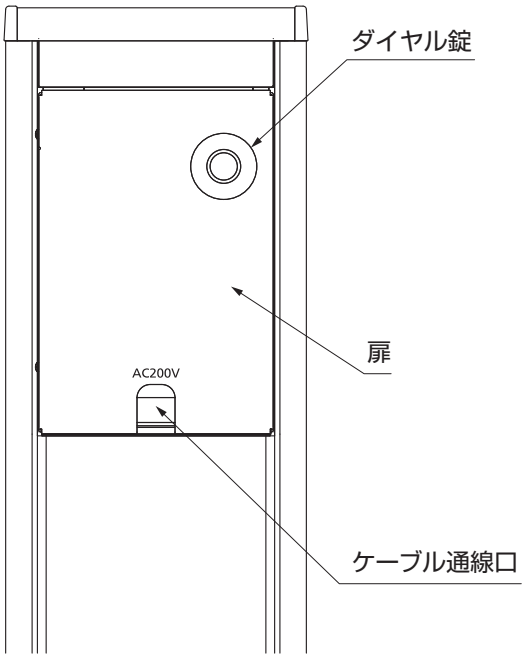


（3）EVポール　2BOXタイプ



（4）充電BOX

＜扉を閉じたところ＞



P.17にダイヤル錠解錠シールが添付されていることを確認してください。

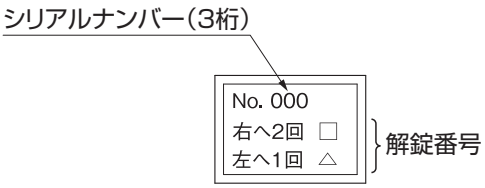


図2-1　ダイヤル錠解錠シール

補 足

- シリアルナンバーはダイヤル錠解錠シールを紛失した際に、解錠番号の問い合わせに使用します。
- シリアルナンバーは充電BOXにも記載しています。
  （P15、(1)(2)ダイヤル錠シリアルナンバーの確認方法を参照してください。）

＜扉を開けたところ＞

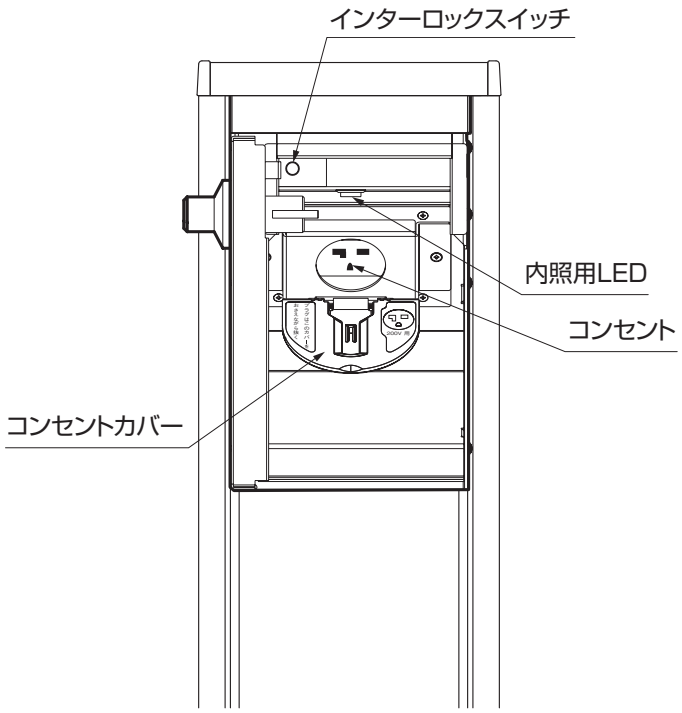


図2-2　コンセント形状

AC200V電源プラグ	AC100V電源プラグ
φ39mm以上の接地2Pプラグ	φ39mm以上の接地2Pプラグ
φ32mm以上の接地のないプラグ	2Pプラグ丸形 φ32mm以上
	30mm以上 18mm以上 2Pプラグ平形

図2-3　使用できない電源プラグ

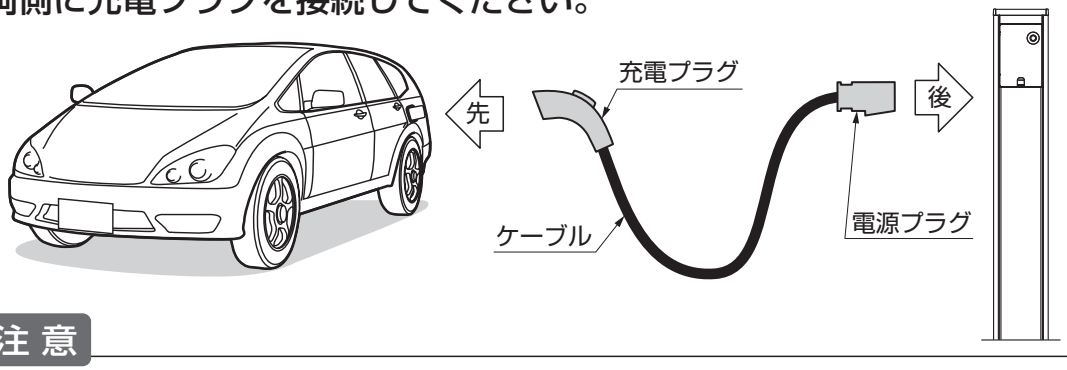
3　使用方法

3-1　充電方法

お願い

●電気自動車の車種によっては、本手順通りに充電を開始しない場合があります。その際は、車両側の取扱説明書に従って充電作業をおこなってください。
●充電BOXに接続する電源プラグの長さが90mmを超えるものは使用できませんので事前に確認してください。

（1）車両側に充電プラグを接続してください。

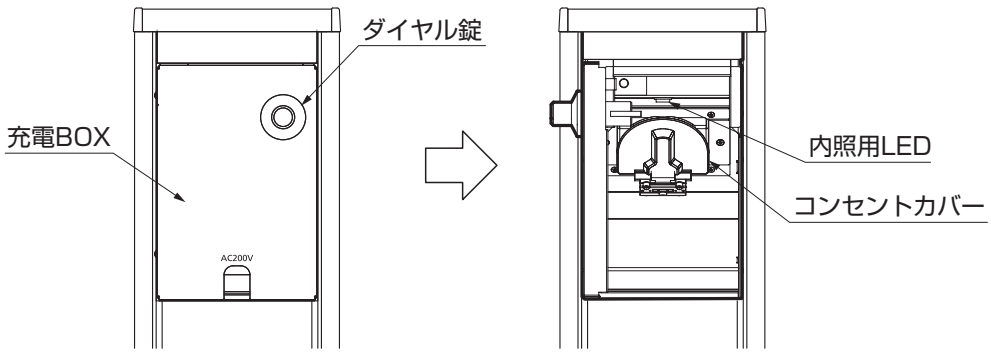


⚠注意

●安全のため、先に車両側へ充電プラグを接続してください。
●プラグの先端は高電圧になっている可能性がありますので絶対に触らないでください。

（2）充電BOXの扉を開けてください。

①ダイヤル錠解錠シールを確認し、充電BOXの扉を開けてください。



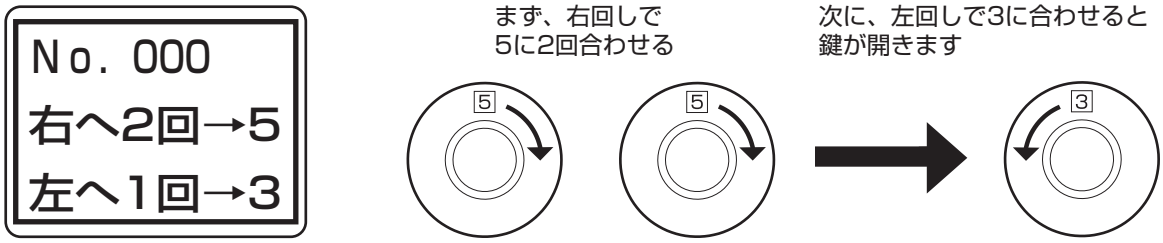
補足

●内照用LEDは扉を開けると点灯し、扉を閉めると消灯します。
●ダイヤル錠の解錠方法はP.7を参照してください。

ダイヤル錠の解錠方法

●ダイヤル錠解錠シールに記載してある番号に合わせて鍵を開けてください。

ダイヤル錠解錠シールの一例



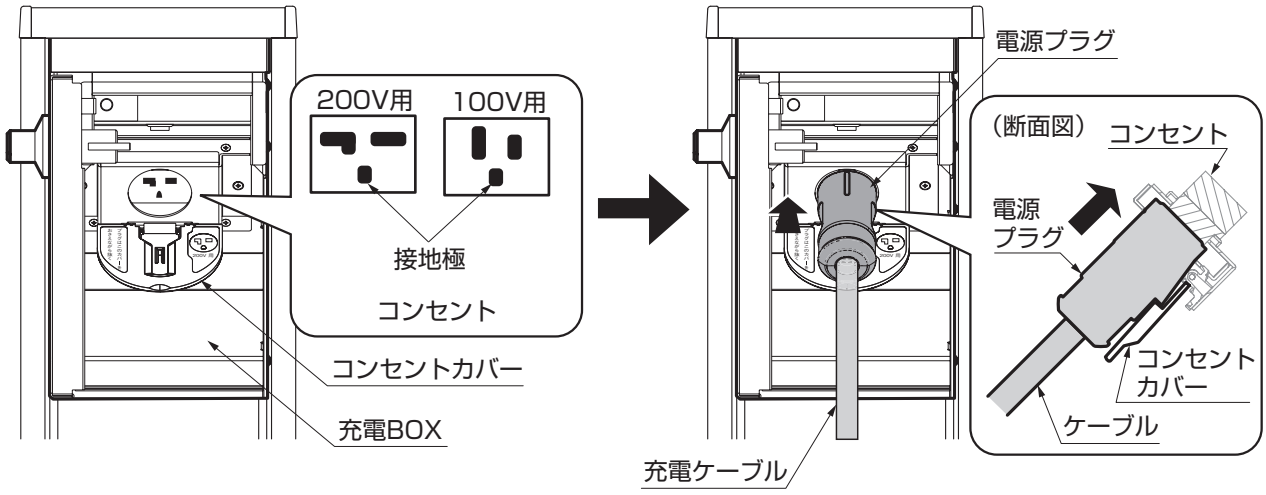
お願い

●ダイヤル錠解錠シールは２枚あります。そのうち１枚は、施工後に工事業者様にてP.17へ貼付されますので、残りの1枚をお客様にて大切に保管してください。

●P.17にダイヤル錠解錠シールが添付されていない場合は、お買い上げの販売店または工事店までご連絡ください。

（3）充電BOXに電源プラグを接続してください。

①コンセントカバーを押し下げて、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



⚠注意

●コンセントの接地極位置を確かめて、奥までしっかりと電源プラグを差し込んでください。

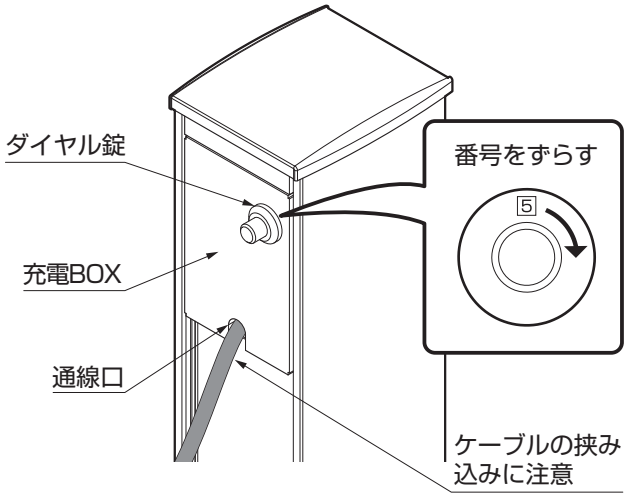
●コンセントカバーと電源プラグがロックされていることを確認してください。

補足

●電源プラグを差し込んだ後、コンセントカバーを離すとコンセントカバーに電源プラグの突起が引っ掛かり、電源プラグをロックします。

（4）充電BOXの扉を閉めて、充電の開始を確認してください。

①充電用ケーブルが通線口を通るように扉をしめてください。
②ダイヤル錠の番号をずらして施錠してください。

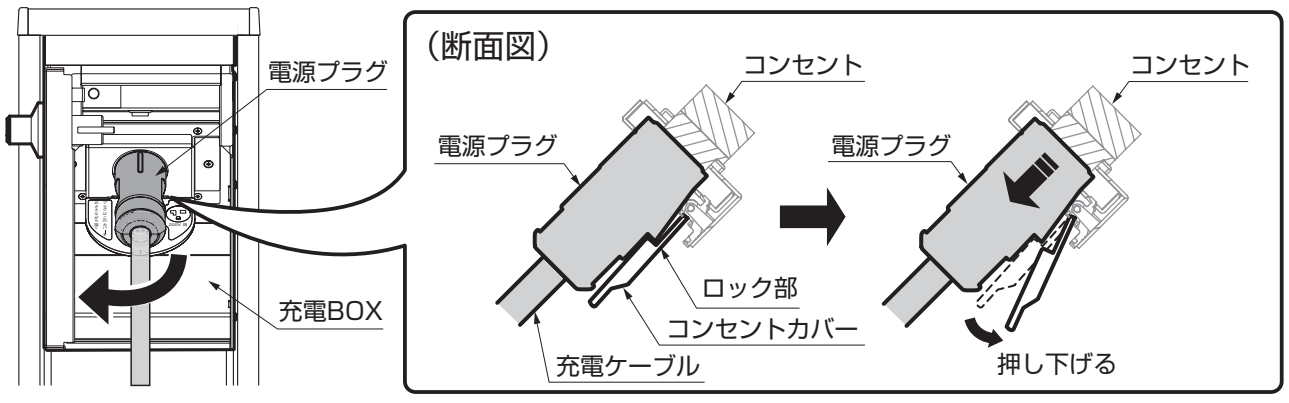


お願い

●充電用ケーブルをはさみ込まないように充電BOXの扉を閉めてください。
●充電BOXの扉が確実にしまらないと充電が開始されませんので気を付けてください。
●施錠後、車両側にて充電が開始されていることを確認してください。

（5）電源プラグの取外し方法

①P.7を参照して充電BOXのダイヤル錠を解錠し、扉を開けてください。
②コンセントカバーを押し下げながら、電源プラグを持って引き抜いてください。



⚠注意

●安全のため、先に充電BOX側の電源プラグを抜き、その後車両側の充電プラグを外してください。
●電源プラグは本体部分を持って引き抜いてください。充電ケーブルを持って引くと芯線が痛んだり、コンセントの破損の原因になります。

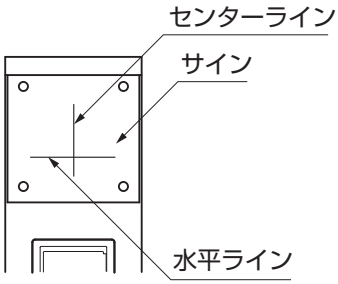
お願い

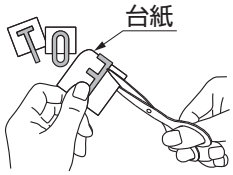
●電源プラグを取外した後は、盗電やいたずら防止のためにダイヤル錠の番号をずらして施錠してください。

3-2 スリム縦型ポスト ※EVファンクションのみ

●スリム縦型ポストに付属の取扱説明書をご参照ください。

3-3 ネームシールの貼り方 ※EVファンクションのみ

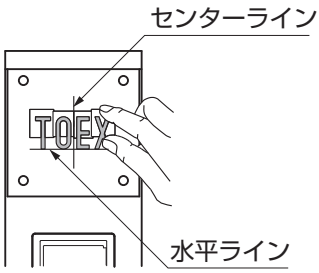


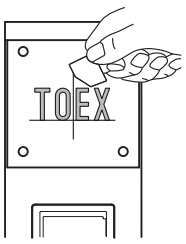


①サインにあとから消せる物で、センターラインと水平ラインを引きます。

②ネームシールから必要な文字を少し小さめに切離します。

③文字を切らないように注意して、台紙をハサミで5分の1程度切取ります。





④水平ラインと文字の位置を合わせて、文字をセンターラインから左右等間隔になるように仮貼りします。

⑤台紙をはがして文字がサイドラインからはがれないようにしっかり貼付けます。

⑥センターラインと水平ラインを消します。

3-4 テレビドアホン親機・子機 ※EVファンクションのみ

●テレビドアホン親機･子機に付属の取扱説明書をご参照ください。

3-5 照明 ※EVファンクションのみ

お願い

●サイン照明は明るさセンサーにより、周囲が暗くなると自動点灯し、周囲が明るくなると自動消灯します。夜間に照明を消灯したい場合は、室内の入切スイッチをOFFにしてください。

3-6 ご注意とお願い

⚠警 告

●誤った使用方法、不適切な維持管理による不具合（製品性能の低下、車両・住宅設備の損害など）については当社としての責任を負いかねます。

⚠注 意

●製品の分解や改造は絶対にしないでください。
●扉や鍵を強引に開閉しないでください。転倒してケガをしたり、製品が破損する原因となります。
●製品に穴を開けるなどの追加工はしないでください。穴部のバリなどによるケガや電線を傷つけることによる感電、さびなどの発生により製品が破損する原因となります。

<EVファンクションについて>

●EVファンクションは、ポストがポールから飛び出した構造です。頭や体をぶつけてケガをしないように注意してください。
●ポスト投函口にむやみに手や指を入れないでください。ケガをするおそれがあります。

お願い

●夏場など直射日光が強い場所で使用する場合は、金属表面温度が高くなるおそれがありますので、特にご注意ください。
●積雪時は適切に除雪してください。
●ボールをぶつけるなど、強い衝撃を加えないでください。破損や故障の原因となります。
●本体付近で、たき火をしないでください。部材が変形、破損するおそれがあります。
●本体付近で、農薬や殺虫剤等の薬剤を使用する場合は、表面に付着しないようにしてください。変色、破損するおそれがあります。
●充電BOXおよび漏電ブレーカが冠水した場合、充電BOXおよび漏電ブレーカを交換してください。
●製品の修理、メンテナンスは、お買い求めの工務店・販売店・電気工事店（電気工事有資格者）にご相談ください。

<EVファンクションについて>

●風雨が強いときは、雨水が入り投函物を濡らすおそれがあります。早めに投函物を取り出してください。
●大きな投函物を取り出すときには、取り出し口に引っかかる場合があります。破損しないように気をつけてください。

4　お手入れと日常点検について

4-1　お手入れについて

（1）汚れの取り方

①表面が汚れたら、よく絞ったタオルなどで拭いてください。

⚠ 警 告

●直接水をかけて清掃しないでください。感電、漏電、故障などの原因となります。

お 願 い

●清掃の際は、布やぞうきんなどのやわらかいもので行ってください。たわしやブラシなど固いものでこすとキズの原因となります。
●シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。材料が変形したり、塗料がはげることがあります。

（2）充電BOXのお手入れについて

①コンセントが汚れていたり、電源プラグや充電BOX内部に水分が付着している場合は乾いた布で拭き取ってください。

お 願 い

●充電ケーブルのお手入れについては、車両側の取扱説明書にしたがってください。

（3）明るさセンサーのお手入れについて

※EVファンクションのみ

①明るさセンサーレンズ（検知部）を6ヶ月に1回程度を目安にして、やわらかい布で拭いてください。

お 願 い

●明るさセンサーレンズ（検知部）が汚れると、センサーの感度が鈍くなります。

（4）漏電ブレーカのお手入れについて

①漏電ブレーカが正確に作動することを定期的にご確認ください。漏電ブレーカのテストスイッチを押すことによって確認できます。詳細は漏電ブレーカの取扱説明書をご覧ください。

（5）キズの補修

①あやまってアルミにキズをつけた場合、弊社純正補修塗料で補修してください。放置すると腐食の原因になります。

4-2 保守・日常点検について

（1）保守・日常点検

⚠注 意

●絶縁抵抗計（メガー）を使用しないでください。絶縁抵抗計を使用する場合は、施工工事店へご依頼ください。
～施工工事店さまへ～
極間に電子部品が接続されており、製品が破損する原因となりますので、極間では使用しないでください。

お願い

●コンセントは一般的に抜き差し回数によって継続的使用が困難な状態（寿命）が発生します。
●10年以上ご使用いただく場合、お客様ご自身で定期点検表に基づき、点検頻度を増やして（全ての項目を1回／月以上）点検を実施してください。

（2）メンテナンススケジュール（参考例）

メンテナンス	5年	10年	15年	20年・・・
◇本体の建替（10年～20年）		建替		建替
◇充電BOXの交換（10年）		交換		交換　交換
	※充電BOXの交換は電気工事士の有資格者がおこなってください			
◇定期点検（1回／半年）	◆半年ごとに点検実施			
	※定期点検はお客様ご自身で実施してください			
◇定期点検（1回／月）	◆毎月点検実施			

定期点検表　本点検表を必要枚数コピーしてお使いください。

●点検の結果、異常や不具合があった場合や交換作業が必要な場合は、施工工事店までご連絡ください。
※部位は4ページの「2.各部名称」でご確認ください。

●点検頻度1回／月

部位	点検個所	点検内容	異常の原因	異常時の処置	点検日時					
充電BOX	コンセント	コンセント固定部のゆがみがないか	強い力によるケーブルの引っ張りなど	充電BOXの交換						
		コンセント樹脂部の割れ・欠けがないか	衝突や環境負荷による劣化							
	コンセントカバー	コンセントカバーの割れがないか	衝突や環境負荷による劣化							

●点検頻度1回／半年

部位	点検個所	点検内容	異常の原因	異常時の処置	点検日時					
漏電ブレーカ	漏電ブレーカ	漏電ブレーカのテストスイッチを押したとき正常に作動するか	漏電ブレーカの故障	漏電ブレーカの交換						
充電BOX	扉	傾き・ガタつきはないか	衝突やもたれかかり、強い力によるケーブルの引っ張りなど	充電BOXの交換						
	コンセント	電源プラグ差し込み時の緩みはないか	コンセントの寿命							
		電源プラグ差し込み時の異常な硬さはないか	異常挿入･変形 コンセントの寿命							
		充電時の異常発熱はないか	コンセントの故障 内部配線の損傷							
	コンセントカバー	ロックがかかるか	強い力によるケーブルの引っ張りなど							
	内照用LED	扉を開いた状態でLEDが点灯するか	内部部品の故障							
	インターロックスイッチ	扉を開いた状態でインターロックスイッチを押した時に“カチッ”音がするか	内部部品の故障							

5　修理を依頼する前に

●故障かなと思われたとき、修理を依頼する前に下記内容をご確認の上、対処方法をお試しください。
●確認の結果、異常がある場合は、施工工事店までご連絡ください。

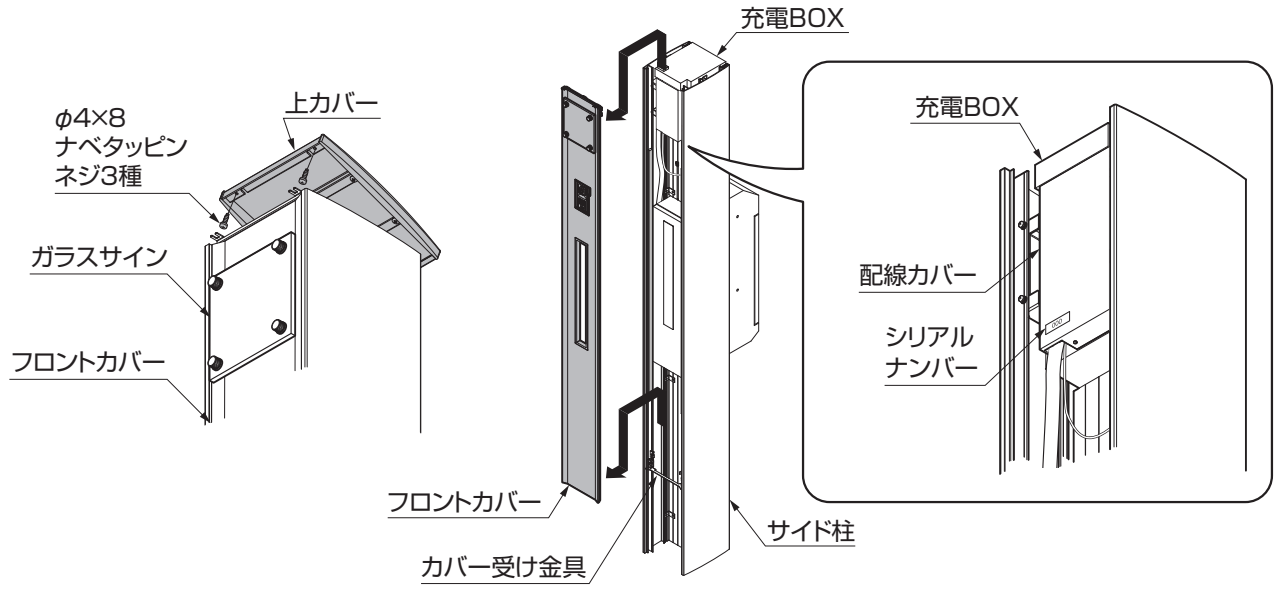
⚠注 意

●お手入れ・点検の際は必ず漏電ブレーカを「OFF」にしてください。漏電ブレーカを「ON」にしたままで作業すると、感電やケガの原因となります。
●配線工事は、電気工事店（電気工事有資格者）にご依頼ください。

このようなとき	点　検	処　置
充電が開始しない	ブレーカがOFFになっていませんか	ブレーカをONにしてください。
	電源プラグがコンセントから抜けていませんか	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	扉が確実に閉まっていますか	扉を閉め、鍵をかけてください。
	満充電状態となっていませんか	車両にて充電状態を確認してください。
	内部機器が壊れている	充電BOXを交換してください。 ※充電BOXを交換する場合は施工工事店までご連絡ください。
扉を開いても内照用LEDが点灯しない	扉が完全に開いていない	扉を確実に開いてください。
	内部機器が壊れている	充電BOXを交換してください。 ※充電BOXを交換する場合は施工工事店までご連絡ください。
扉が開かない	ダイヤル錠が施錠されていませんか	ダイヤル錠解錠シールの番号に合わせて、ダイヤル錠を解錠してください。(7ページ参照) **<ダイヤル錠解錠シールを紛失した場合>** P.15、ダイヤル錠シリアルナンバーの確認方法を参照して番号をメモしてください。当社お客様相談室までお問合せの上、解錠番号を確認してください。
サイン照明の不点灯・点滅	明るさセンサーのレンズ（検知部）が汚れたり蒸気などの水滴がついていませんか	明るさセンサーのレンズをやわらかい布で傷がつかないように拭いてください。

（1）ダイヤル錠シリアルナンバーの確認方法（EVファンクションの場合）

①フロントカバーのネジを外して、上カバーを取外してください。
②フロントカバーを上方向にスライドして取外してください。
③充電BOXの配線カバーに貼付けてあるシリアルナンバーシールを確認し、フロントカバーと上カバーを元にもどしてください。

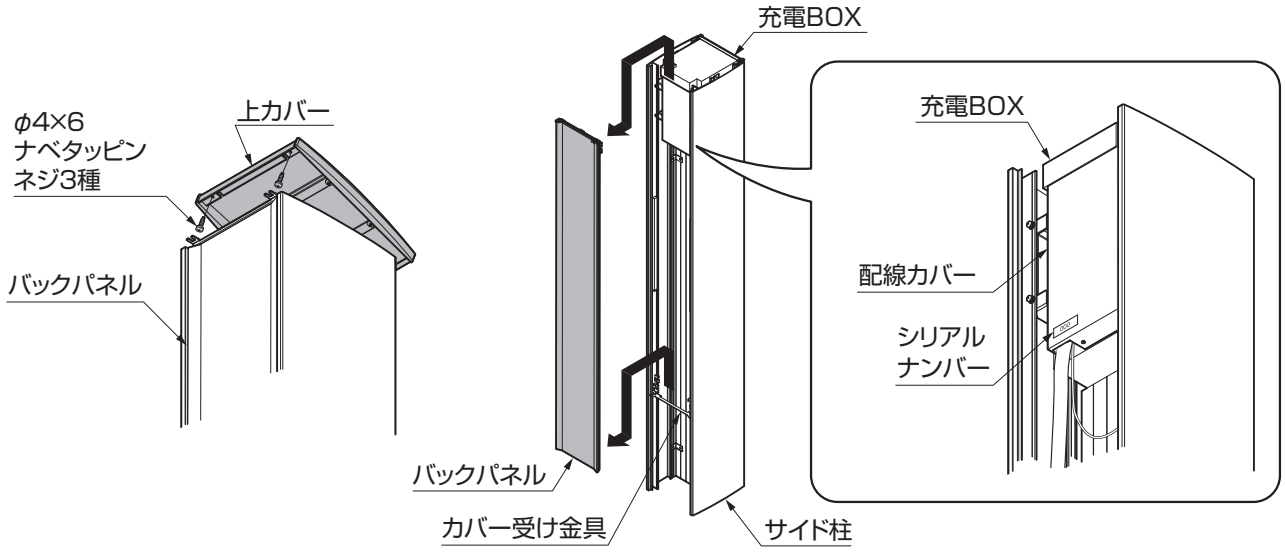


⚠注 意

●フロントカバーを取外す際は、カバーのエッジ部でケガをしないように注意してください。

（2） ダイヤル錠シリアルナンバーの確認方法（EVポールの場合）

①バックパネルのネジを外して、上カバーを取外してください。
②バックパネルを上方向にスライドして取外してください。
③充電BOXの配線カバーに貼付けてあるシリアルナンバーシールを確認し、バックパネルと上カバーを元にもどしてください。



⚠注 意

●バックパネルを取外す際は、パネルのエッジ部でケガをしないように注意してください。

6　修理と保証

（1）保証書について

●保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。
●保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

（2）保証期間

お願い

●保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

施工完了日（お引渡し日）▼	1年▼	2年▼
電装部品	無料	有料
電装部品以外	無料	有料

（3）修理について

●製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
●修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店（工事店）または、TOEX「お客様相談室」にお問い合わせください。
●修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご氏名	
製品名		ご住所	
施工日	年　月　日	電話番号	
施工店名		その他	

●消耗品は寿命があり、有償修理となります。

7　別売り品

●下記のような別売り品がありますので、目的に合わせてご利用ください。
・補修塗料
誤ってキズをつけたときの補修にご利用ください。

8　仕様

＜充電BOX＞

用途	200V用	100V用
定格	AC200V20A	AC100V15A
消費電力	2W（車両充電容量は除く）	
使用温度範囲	-10℃～+40℃	
その他機能	ダイヤル錠、インターロック、内照用LED	

＜サイン照明＞

機種	ガラスサインLED照明
使用電圧	DC12V
消費電力	1.1W
LED	電球色6個

＜DC12V内蔵トランス電源＞

機種	DC12V内蔵トランス電源
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
定格出力電圧	DC12V
最大接続負荷	12Wまで

9　ダイヤル錠解錠シールの貼付け

お願い

～ 工事業者様へ ～

●製品施工後、ダイヤル錠解錠シールの1枚を貼付けてください。残りの1枚はお客様へお渡しください。

ダイヤル錠 解錠シール （2BOX上段）	シール貼り付け位置

ダイヤル錠 解錠シール （2BOX下段）	シール貼り付け位置

10　緊急連絡先の記入（EVポールの場合）

お願い

～ 工事業者様へ ～

●EVポールへ連絡先シールを貼付けた場合、シールと同内容を以下に転記してください。

緊急時や充電BOX鍵番号のお問合せ先	
連絡先	
ＴＥＬ	

メモページ

TOEX

EVファンクション／EVポール　保証書

製造No. （商品名シールNo.）		
保証期間	対象部品	期間（お引渡し日より）
	本体	2ヶ年
	但し電装部品	1ヶ年
お引渡し日	年　月　日	
お客様	ご住所	
	お名前　様	
	電話　（　）	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施工店	住所・店名　印 電話　（　）

1. **保証者**
   東洋エクステリア株式会社
   2011年4月1日より「株式会社LIXIL」
2. **保証の対象者**
   当該商品の所有者
3. **対象商品**
   TOEXブランドで販売しているエクステリア商品
4. **保証内容**
   取扱説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
5. **保証期間**
   当該商品の施工完了日（お引き渡し日）から起算して2年間。（電装部品及び木製部品については1年間）ただし、施工を伴わない商品についてはご購入された日から起算して1年間。
6. **免責事項**
   保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
   ①取付説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された施工・取り付け方法から逸脱したことに起因する不具合（例えば、腐食促進のおそれがある海砂・急結材等を使用したモルタルによる腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下など）。
   ②取扱説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合（例えば、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など）。
   ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取付けられた場合の不具合（例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など）。
   ④建築躯体や、外構工事、土間工事、電気工事などの商品以外に起因する不具合。
   ⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品の反り、ひび割れ、節抜け、ささくれ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
   ⑥自然現象や住環境に起因する結露、樹液の染み出しなどに起因する不具合（例えば、結露による凍結、かび、さび発生、樹液によるコンクリート壁面などの汚れなど）。
   ⑦環境が特に悪い地域又は場所に取付けられたことに起因する腐食及び不具合（例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどの付着によって起きる腐食や塗装剥離、異常な高温・低温・多湿による不具合など）。
   ⑧天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
   ⑨実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
   ⑩犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、又はつるや根などの植物の害による不具合。
   ⑪使用者や第三者による不当な修理や改造（必要部品の取外し含む）に起因する不具合。
   ⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
   ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お客様相談室にお問い合せください。

―お客様相談室―
0120-171-705

取説コード
UA198
JZZ622491
201102A_1041